

## 最終話 オリエンテーション

●4月12日(土)武蔵野美術大学で平成20年度授業のオリエンテーションを約60名の学生を前に行った。

私は〇〇〇講師(前期)とともに現代科学論後期を担当している。〇〇講師は、'竹'の科学的性質を活用した玩具を作り、千葉県大滝町で地域振興を進めておられる。私は後期の授業の概要を、映像を交え次のように説明した。

◆大滝町の例にもあるように最近では科学が地域振興を担うケースが増えている。

武蔵野美術大学では平成18年度より〇〇〇〇教授指導の下、文部科学省の支援(現代GP)を受けて、新潟県岩室温泉で地域活性化事業「いわむろの未来創生プロジェクト」を進めているが、このプロジェクトに連動してNTSではNPO新潟の科学・自然探偵団を組織し、新潟大学と協力して、科学を通じての地域活性化事業を、新潟市を中心に展開する準備を進めている。本年11月、第1回目の活動報告として米(コメ)をテーマとしたイベント「コメッセ2008」を岩室温泉で開催する。「コメ」は日本人、特にコシヒカリの産地の新潟市民にとって身近な存在である。又「コメ」は、光合成で生れ、里山で育ち、田のエコロジーを育み、醸造、発酵業を発達させた。近年はバイオマスエネルギーとしても注目される等、多様性のある科学技術が凝縮されており、一粒の「コ

メ」を通して地球を見ることが出来る。大学等の協力を得ながら「コメ学」を新潟の市民学として育成し、市民の草の根ネットワークの中に科学が浸透することを目指している。

◆それにしても何故'科学'なのだろうか?それは今、人類が大きな課題に直面していて、科学の力を必要としているからかも知れない。

大きな課題とは、一つは地球温暖化等の環境問題、一つは遺伝子操作等の人間存在に係る生命倫理の問題である。最近、科学をテーマとしたテレビ番組やコミックが増えているのも、グローバルに問題意識が行き渡っているからだろう。話題のDVD「BONES～骨は語る～」で、法医学専門家の主人公は、骨による事件解決手法を'人類学的アプローチ'と語っていた。「人体の不思議展」や「骨単」のヒットも同じ脈絡の中に置くことはできないだろうか?

◆授業ではそうした脈絡の中で、芸術家やデザイナーの役割について考える。

例えば、昨年ノーベル賞を受賞した元米国副大統領A. ゴアは「不都合な真実」の中で、地球温暖化の原理を科学動画とアニメ動画との双方を比較し、後者の方が説得力があるとユーモアを交え説明した。或は人類滅亡後の超未来の動物を描いた英国BBC放送制作「Future is Wild」は、科学者と芸術家のコラボレーションによる作品である。

◆考えることが得意な科学者と表

現することが得意な芸術家が手を組めば、科学は身近になり、そこで育つ市民レベルの「自然(現象)を考える力」が、人類を救うことにつながるだろう。

科学者と一般市民の間で科学つまり自然の仕組みの翻訳者となるのが、これからの芸術家やデザイナーの大事な役割だと思う。

●私たち出版人にとっての人類学的アプローチとは、時代を動かす確かな情報の選択と編集である。

科学技術の成果や社会現象に情熱と理念を持ち、問題解決へのアイデアを立てる。ジャーナリズム精神を発揮し現場取材を重ね、アイデアを創造に変える。こうした行為の積み重ねが出版業界の原型のはずである。その出版業界も時代の変化の波に必ずしも対応できなくなりつつある。言い換えればジャーナリズム精神という原型が壊れつつある。次号より25年目を迎える出版社NTSの新たな事業展開の方向を語りたい。本稿は今回で終了するが、同時に次の展開へ向けてのオリエンテーションでもある。(了)

(参考引用文献)

- 1) DVD「不都合な真実」(A. ゴア原作・パラマウント映画、2006年)
- 2) DVD「BONES～骨は語る～」(ジェネオン エンタテインメント販売、2002年)
- 3) DVD「Future is Wild」(NHKソフトウェア発行、イギリス、2002年)
- 4) 「骨単」(河合良訓監修・原島広至著・NTS、2004年)

## ◎編集後記

春の花々を愛でる季節から次第に温暖な季節になってきました。外でのレジャーに気分が浮き浮きしている方も多いのではないのでしょうか。この季節、意外と楽しい「潮干狩り」がお勧めです。千葉の富津海岸など、あさりで有名な場所も多くありますが、茨城方面ではなんと「蛤」が取れる場所もあるようです。蛤をたくさんとるコツは、潮がひいた後の砂浜で、乾いた陸地と水が溜まっている場所の境目のような、蛤が好む場所を探すこと。「食」の問題が山積している現代で、こうした楽しみもまたいいのかもしれません。(坂)

## ◎編集部からのお願い

NTSニュースでは読者の皆様からのお便りや投稿をお待ちしております。また、開催予定の勉強会・イベント等、掲載をご希望される方は下記宛までご連絡ください。

〒113-0034 東京都文京区湯島2-16-16 (株)エヌ・ティー・エス「NTSニュース」係  
FAX: 03-3814-9152 E-mail: eigyo@nts-book.co.jp

## NTSニュース

2008年5月号(通巻111号)  
2008年5月7日発行